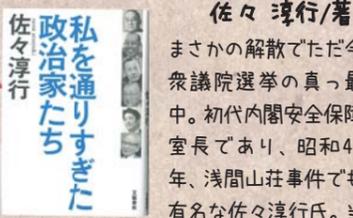


私を通りすぎた政治家たち



時の彼の伝令役が私の元上司という関係からも前より嗜事(しじ)。今だから読んでみたい一冊。

11月18日(火)、香我美町山北の浅上王子宮で恒例の秋の大祭が行われ、山北棒踊りが奉納されました。

今年は、ダイドードリンコ(株)主催の「日本の祭り2014」に山北棒踊りを取り上げていただけることになり、当日撮影が行われました。

地域の皆さんが、これまで築き上げてきたものが未来へと繋がる棒踊りは、12月21日(日)午後3時よりテレビ高知で放送予定です。ぜひご覧ください。

市長談話室

24

観光振興と地域の活性化 ④

8月号からシリーズで掲載している「観光振興と地域の活性化」の4回目。今月は、新たな観光の仕組みづくりといえる、体験型・滞在型観光についてです。

香南市には、観光振興の専門的機関として一般社団法人香南市観光協会があり、観光の宣伝や地場産品の販売促進、旅行業の実施などを行っています。

観光客が訪れるということは、まさに活力が生まれ、地域が元気になるということ。観光協会と行政が連携を取りながら、香南市の認知度を上げることに加えて、誘客に向けての旅行プランの開発や観光情報の提供など、スピード感をもって取り組んでいかなくてはなりません。

観光施策で地域を活性化

◆滞在型・体験型観光の3つの原則

旅行者のさまざまな要望やニーズに添えて、知る人ぞ知る隠れた名所や伝統料理、生活文化体験など、その土地でしか味わえない本物を体感できる、香南市ならではの滞在型・体験型観光の促進は、これから

の香南市にとって非常に有効な観光施策になります。

そこで、滞在型・体験型観光の実現に向け、基本となる原則は次の3つ。

- 1、すぐに実践と長い取り組み
- 2、地域のお宝の発見と創造
- 3、協働なくして実現なし

この基本原則とともに必要になるのが、継続できる観光を生み出すための地域力です。そこには、観光地を巡るという一般的な観光に「人とのふれあい」というエッセンスをプラスすることであり、協働があつてこそ実現できることでもあります。

◆人・モノ・文化に触れる体験を観光の主軸に

その土地独特の人・モノ・文化に触れる観光には、受け入れのための人づくりが重要であり、この人づくりは、やがて広義のまちづくりへと発展していきます。

体験型観光は、場所を選ばず、その土地にある日常の人・モノ・文化を活かせば、どこにおいても実現可能な観光です。市外から見ると目新しく、興味深い人・モノ・文化のある香南市。それらを活かした観光づくりが、今後の香南市づくりの力ギとなつていきます。



清藤真司



私たちにできることから 94
環境対策課 ☎57-8508

届けこの思い... よみがえれ海岸

拾っても、拾っても...

吉川海岸は以前からごみの不法投棄が多い場所であり、不法投棄防止の重点監視地域に指定されています。関係機関がパトロールしたり、ごみを撤去したりしていましたが、拾ってもまた捨てられるたちごっこが続いています。

美しい海岸をもう一度

このように地域が一体となった取り組みを進めることで、ごみの無い美しい海岸が戻ってくるでしょう。

つながる思い

この現状を何とかしなければ、地域の皆さんにご協力いただき海岸の清掃を行ったり、城山高校、赤岡中学校、吉川小学校、吉川みどり保育所、吉川地区女性会、国際デザイン・ビューティーカレッジの皆さんによる堤防壁画の作成を4年間続けてきました。その結果、ごみの量は年々目に見えて減少しています。また、赤岡海岸では赤岡小学校、夜須町大手の浜ではNPO法人海の駅クラブなどが定期的に清掃活動を行い、海岸の美化に努めてくれています。

少しでも早く元の美しい海岸に戻すためにも『絶対にごみを捨てない!』... まずは私たち一人ひとりにできる簡単なことから実践していきましょう!

たった1時間でこんなに!!

